

ステーションサービス LINE

No. 171

発行 2022.11.16
東日本旅客鉄道労働組合
ステーションサービス協議会

2022 年度年末手当等に関する申し入れ 第2回団体交渉行おう！

JR東労組の要求月数に遠く及ばない

2.45 箇月



平均年齢 30.1 歳 平均支給額 528,850 円 社員数 1,661 人

	2021 年度(赤字決算)		2022 年度(黒字決算)		平均支給額の 21 年度と 22 年度比
	月数	平均支給額	月数	平均支給額	
夏季手当	2.10	457,128	2.05	449,106	△8,022
年末手当	2.35+1 万円	511,803	2.45	528,850	17,047
年間	4.45+1 万円	968,931	4.50	977,956	9,025

組合

赤字決算だった昨年度から今期は黒字決算になったにもかかわらず年末手当では 17,047 円、年間では 9,025 円しか上がっていない。なぜ昨年の赤字決算時と同等なのか！全く納得できない！

職場における努力と苦勞、過去最高の働き度である「労働実感」や、年末手当は生活給になっている現実、さらなる物価上昇での「生活実感」について、年末手当の考慮要素にすることの認識を一致させてきたが、2.45 箇月では少なすぎる！

さらに人材が流出してしまう危機感を持つ！

会社

組合側の主張は受け止めるが、最大限の回答である。この先の不透明な要素が多くなっている。

意見は受け止め、ご尽力には感謝している。尽力を踏まえた回答だ。

最大限検討した結果だ。

示された回答は、持ち返り検討する。

過去最高の働き度に見合っていない回答であり、全く納得感がない！
経営陣は現場を見て現場の声を聞くべきだ！